

■ご挨拶

攻めと守りで骨太の業界を目指して

日本風力発電協会 理事 橋本龍治
J-POWER 電源開発㈱ 環境エネルギー事業部 風力事業室長



はじめに

平成 26 年度第 14 回臨時社員総会にてご承認頂き、理事を務めさせていただくことになりました J-POWER 電源開発㈱の橋本です。微力ではありますが、JWPA の活動に少しでも貢献できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

再生可能エネルギーの推進環境と風力推進の基盤

一昨年の 7 月に FIT 制度が導入され、再生可能エネルギーの導入を進める環境が一步進んで整備されました。これにより、再生可能エネルギーの導入が格段に加速されましたが、導入のリードタイムが短い太陽光発電が飛躍的に拡大している一方で、風力発電の導入は未だ“加速的”領域には達していません。むしろ法アセスの対象となるなどの要因により、一時的には開発スピードが減速しているところも出てきています。再生可能エネルギーのペースと目されている風力の導入促進には社会の期待も大きなものがありますので、風力事業者としてその期待に応えるべく、着実に歩を進めていきたいと思っております。

風力の導入拡大を進めていくためには、系統の問題、アセスの問題、農地利用の問題等、克服すべき課題が存在しています。これまでの業界をはじめとした様々な活動を通じた取り組みにより解消しつつある部分もありますが、引き続き業界として取り組んでいかなければならない重要な課題も存在していると認識しています。また、大きなポテンシャルがあり、今後、普及が期待される洋上風力については、社会インフラの整備を含め事業環境の整備等を業界として働きかけていくことも必要だと考えております。

足元を固めること

昨年来、ナセルの脱落事故をはじめとして深刻な事故が多く発生しており、風力の安全性に社会から不信感をもたれかねない状況が生じています。もし仮に風力設備に起因して大きな公衆災害を発生させるような事態が起これば、一事案の問題にとどまらず風力全体の存亡に影響を与える可能性もあると危機感を持っております。このため、各事業者が細心の注意を払って事業運営を続けていくことはもとより、発生した事案については業界内で広く情報を共有してノウハウとして蓄積し、同様の事案が二度と発生しないよう業界全体が一丸となって取り組んでいくことにより社会の信頼を維持していくことが重要だと考えております。

おわりに

力不足の部分も多々あると思いますが、JWPA に関わる皆様と実のある議論を重ねながら JWPA の活動を盛り上げていければと思っております。色々な場面でご意見、ご指導を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。